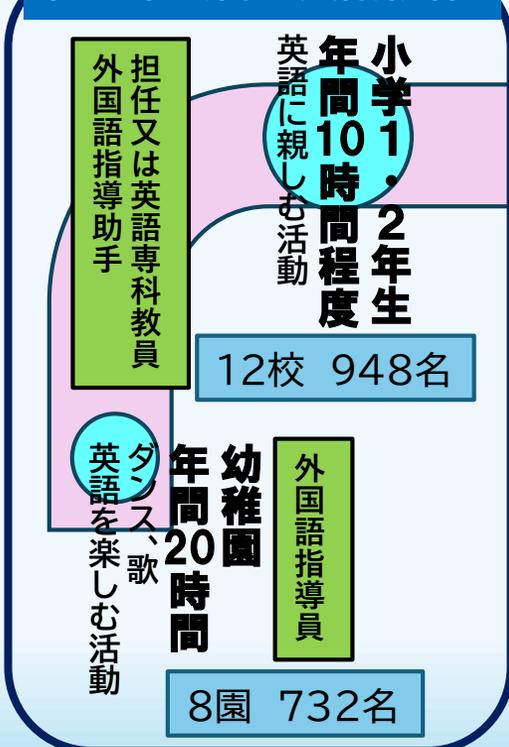


# 英語教育の現状と課題

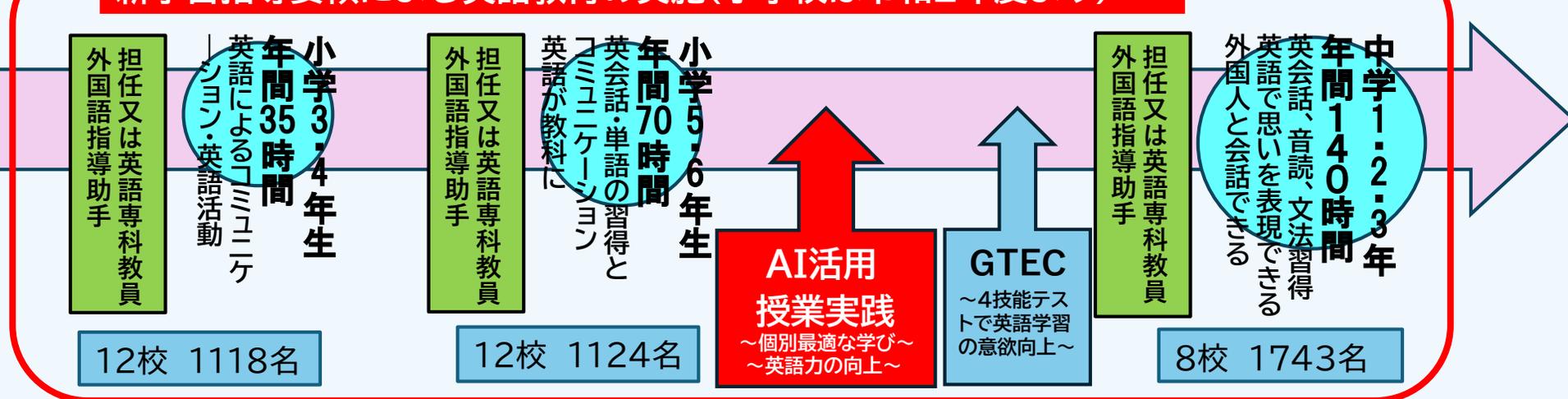
【行田市】

## 【英語教育の現状】

### 行田市独自の英語教育



### 新学習指導要領による英語教育の実施(小学校は令和2年度より)



### 【現状の課題】

- 切れ目ない外国語教育の実現
- 保育園への英語学習の導入
- 教員の指導力向上
- 外国語指導助手(ALT)の活用
- 会話中心の授業不足
- オールイングリッシュによる授業実践
- 英語力の可視化 など

◎ 埼玉県学力・学習状況調査結果

正答率:% ( )内:県平均 < >内:県平均との差

◎ CEFR A1(英検3級相当)以上を達成した中学生の割合  
(英語教育実施状況調査より)

英語		R2		R3		R4		R5		R6	
		正答率	伸び	正答率	伸び	正答率	伸び	正答率	伸び	正答率	伸び
	中2	54.5 (57.3) <-2.8)	-2.4	61.2 (62.6) <-1.4)	-1.9	56.2 (59.0) <-2.8)	-1.2	50.6 (53.3) <-2.7)	-4.6	60.0 (61.9) <-1.9)	
	中3	50.0 (55.7) <-5.7)		54.8 (60.0) <-5.2)		52.6 (55.9) <-3.3)		46.4 (50.4) <-4.0)		47.3 (54.6) <-7.3)	

年度	全国平均(%)	埼玉県(%)	行田市(%)
2021(R3)	47.0	46.8	38.9
2022(R4)	49.2	50.1	44.7
2023(R5)	50.0	48.1	34.2

※ CEFR(セファール)とは、外国語の運用能力を評価するグローバルスタンダードな指標。国際通用性が高く、国や言語を超えて英語力を評価・証明できることが特徴